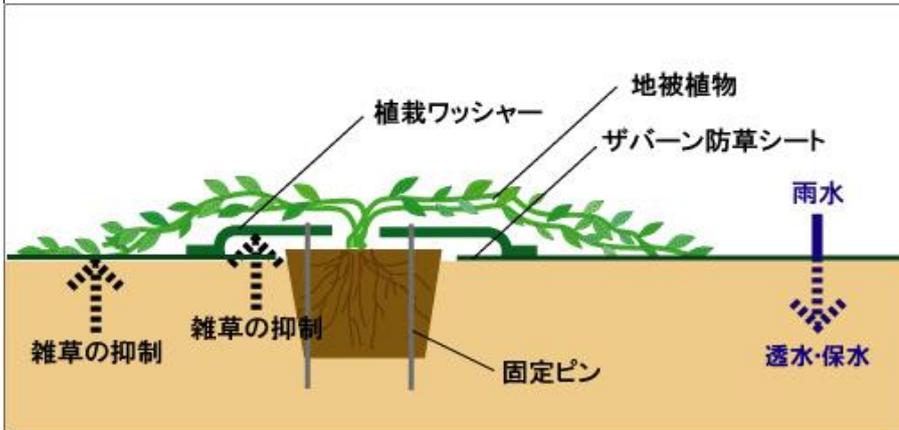


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 <input checked="" type="radio"/> 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）																				
技術名称	防草シートを使用した植栽ワッシャー工法	担当部署	西日本営業部																		
NETIS登録番号	KK-120059-A	担当者	兼久 淳																		
社名等	株式会社グリーンフィールド	電話番号	078-939-4130																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>植栽帯において、地被植物を植栽する場合、従来人力除草により維持管理を行っていたが、課題として、植栽内地被植物を維持するための管理コスト（雑草の人力除草作業を2回/年）が必要であった。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>本技術は植栽帯において防草シート（ザバーン、4層спанボンド[®]不織布）と植栽ワッシャーにより、雑草の繁茂を抑制し、地被植物の成長を促進する工法である。</p> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防草シート（ザバーン、4層спанボンド[®]不織布）により雑草抑制効果が向上し、維持管理管理コストが減少する。 ・防草シートのカット、土の除去を同時に行なえる簡易なホールオープナー（専用穴開け機）を使用することにより、普通作業員でも作業が可能となる。 <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ①適用可能な範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・道路植栽帯・道路脇法面・河川敷の平面及び法面・公園植栽帯の地被類植付工、修景緑化工に適用 ②特に効果の高い適用範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・除草作業が少なくなるため、維持管理が困難な場所でより適している ③適用できない範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・事前除草作業が困難な斜面への適用は不可 ・酸性土及びアルカリ土が酷く植物の育たない土壌環境（土壌改良により植栽可） <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">0 件</td> <td style="width: 15%;">（九州</td> <td style="width: 15%;">0件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外</td> <td style="width: 15%;">0件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> </table> <p>※民間を中心に多数実績があるが、件数把握ができていない。</p>			国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）	自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）	民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）
国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																
自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																
民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																

6. 写真・図・表



※ザバーン防草シートはポリプロピレン製4層スパンボンド不織布です。
また、防草シートの透水係数は 5.01×10^{-2} であり雨水は透水します。



■ 植栽ワッシャー設置方法

真中の穴から苗を出し、ワッシャーを接続しピンで固定

